

2019/12
No.278

WAC
WONDERFUL AGING CLUB
長寿社会文化協会

2019年12月15日発行 通巻278号
<http://www.wac.or.jp/>
E-mail: iken@wac.or.jp



ふれあい ねっと

Wonderful Aging Club Network and Communication



▼赤字額大幅圧縮し、財務体質改善進む！
—— 定時総会を開催

▼9割が生きがいを持ち、社会的活動への参加も高率
—— WAC会員アンケート調査結果

▼全国のWACポイント48拠点の活動一覽

▼15年の実績積んだ福祉サービスの第三者評価事業

▼ジャパネットたかたで高齢者疑似体験研修





小林里美
新事務局長

WACに入って26年目 学び得られた幸せを 還元したい

7月1日、小町純一・前事務局長の退任に伴い、1988年に社団法人長寿社会文化協会（WAC）が誕生してから8人目の事務局長に就任いたしました。女性として初となります。1994年

7月に入職し、現在26年目です。当時30代でしたが、面接を受けた時を昨日のこのように鮮明に覚えています。ここでは、入職時からこれまでをWACの歩みとともに振り返り、ご挨拶の言葉といたします。

ヘルパー研修で収入がピークに

よく晴れた夏の日、面接してくださいましたのは鷹野義量事務局長と東郷隆好次長です。直属の上司は町野美和事業部長、配属された介護教室の先輩に関口博子さん、中村清子さん。経理に首藤愛子さんや加藤明子さん、ふれあいねっと編集長の水野嘉女さん、まごころサービスの村上静さん。会う人、見るもの、聞くものすべてが新鮮で毎日が面白くてたまりませんでした。

翌年、阪神・淡路大震災が発生。市民活動の新时代が始まり、新ゴールドプランにより大手企業が介護業界へ参入した結果、ホームヘルパー養成

研修が爆発的に増える一大ブームが巻き起こりました。WACも時代の波に乗り、会員数と事業収入を伸ばしました。ピークは介護保険制度開始年の2000年で、会員1万7千人、事業収入3億6千万円、2900万円の黒字となりました。会員数は翌2001年が最高で1万8千人、WACポイントは300を超えていました。

しかし、この年から事業収入の低下が始まり、指定管理事業が入って、黒字に転じる2006年まで試行錯誤の期間が続きます。この頃に新規事業として始まったのが「福祉サービス第三者評価」と「みなと*しごと55」でした。2010年、WACは公益社団法人となりましたが、今やどちらの事業も、WACが公益社団法人として成立するための有力な公益事業に成長しました。

平野さんが事業部長に就任

2006年は私にとって大転機の年で、7月1日、12年間に在籍したWAC本部事務所を離れて、千葉県福祉ふれあいプラザ（我孫子市）に統括責任者として異動します。当時WACは、減少したとはいえ会員数は6千人、WACポイントは200を超えていました。事業規模は高齢者疑似体験が5千万円、子育て支援やコミュニティカフェの助成金事業とヘルパー研修が同程度で合計7千万円。指定管理事業を合わせて総収入は

2億2千万円ほどでしたが、800万円超の黒字決算で、順調な運営が続くと思われたものです。しかし、その後、赤字と黒字を繰り返しつつ、主力の高齢者疑似体験事業は縮小しました。一方、ヘルパー研修は研修の種類を変化させつつも、2006年からレベルを落としていません。担当した平野陽子常務理事の功績です。私がWAC本部を離れた後、リーダー的存在だった水野さん、町野さん、中島勢津子さんが次々とリタイア。一人残って踏ん張ったのが彼女です。実は、10月の理事会で組織改革案が承認され、町野事業部長以来の2人目の事業部長として平野事業部長が誕生しました。

変わらぬWAC特有の活気

さて、13年ぶりにWAC本部事務所に戻ってきたところ、職員はほとんど代わっていました。しかし、WAC特有の活気は変わらず残っていました。会員数は約千人となりましたが、会員の皆様の変わらぬ熱い心は会員アンケート結果（6〜7頁）からも読み取れるほど存在しています。私は幼い頃からとても運がよく、人や環境に恵まれてきたと思っています。WACに入らなければ話す機会など絶対になく諸先生方に直に教えを頂き、海外を含めてさまざまな場所を訪れて多様な人々にお会いする機会を頂きました。このたび、事務局長の重責を担うことになりましたのも巡り合わせであり、先生や先輩の方々、会員や利用者の方から学び得られた幸せを還元するためだと心に誓っております。未熟者ですが、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



赤字額大幅圧縮 財務体質改善進む！ 常務理事4人体制に

公益社団法人・長寿社会文化協会（WAC）は6月27日、東京都港区の日本女子会館で定時総会を開いた。

正会員136人のうち、本人出席が29人、議決権行使書を届け出て出席と見なされたのが44人、合計73人の出席となった。小町純一事務局長から「正会員総数の過半数を超えており、定款第18条の規定により、総会が成立している」と報告があった。

京極高宣会長、升田忠昭理事長から挨拶があり、次いで、定款第17条の規定により、総会の議長に茶山ちえ子さんを選出した。

第1号議案

2018年度事業報告

茶山議長が「決議事項の第1号議案について、事務局長から報告をお願いします」と要請し、事務局長から会員の動向について報告があった。「個人会員数は昨年まで減少傾向が続いていたが、若干の増加に転じた」。

続いて、各事業について担当理事が報告した。

【公益事業①】

千葉県からの指定管理者事業の千葉県福祉ふれあいプラザは、第3期指定管理の最終5年目であり、総利用者数が4年連続20万人を超え、利用料収入とともに前年度を超えた。県による評価も4年連続、「優良」の総合評価を得た。県の施設として市町村連携と全県的な活動が引

き続き要望され、全県的な活動として出張研修を40回行い、2千人弱の参加を得た。第4期指定管理申請は県から高評価で指名され、協定書を締結した。

福祉サービス第三者評価事業は、受託件数は50件で、サービスの内訳は高齢者分野がほとんどだったが、就労継続支援B型、認証保育所等新しいサービス分野の取り組みもできた。そして、港区独自の介護予防施設の評価も実施した。

機関誌の「ふれあいねっと」は会員への情報発信を増やすため、新たに4頁の「かわら版」も発行した。

【公益事業②】

「みなと＊しごと55」は、日々の相談業務において積極的に求人案内したこと、また、そのために求職者のニーズに合いそうな求人を積極的に開拓した結果、求人数が前年度比19%、求人数も同13%アップし、求職者数は前年度とほぼ同数だったが、就職者数は同13%アップとなった。

【公益事業③】

WAC独自事業として、東京で「コミュニティカフェ1day講座」を2回、千葉県等で千葉県福祉ふれあいプラザの出張県民研修として「コミュニティカフェ開設講座」を1期行なった。1day講座は「開設に向けた一歩が踏み出せない」という過去の受講生や、基礎的なことは知っているという人を対象にしたが、東京圏外の秋田・山梨・長野・三重・大分からも受講者が集まった。



【収益事業①】

介護職員初任者研修は、東京都社会福祉協議会（社協）から「介護職員初任者研修・資格取得支援事業」を受託し、東京都品川区で介護職員初任者研修を1期行った。前年度に引き続き、東京しごと財団からの委託で生活支援サービス研修を年6回開催した。また、東京都八王子市からの委託で生活支援サービス研修を3回行った。東京しごと財団からは「生涯現役社会推進事業」も受託し、55歳以上でこれから就職活動を始めたい、または就職活動中の人を対象に「シニア生涯ワーキングセミナー」を都内60会場で開催し、約2千人が受講した。

【収益事業②】

高齢者疑似体験事業は、収入は前年度から減ったが、新規依頼は継続的にある。2018年度は、うらしま研修・イベントは年間22件実施し、うち新規が7件であった。小学生向け「つくし君」は東京都台東区からの委託事業で区立小学校16

校903人に体験してもらい、ほかにも東京都北区社協や千葉県一宮町役場の依頼に対応した。インストラクター養成研修は、WAC本部のほか、出張研修として高知県社協や社内限定インストラクター研修を民間会社で行い、計108人が受講した。

認知症疑似体験事業は、問い合わせが相次ぎ、計13件。うち12件が新規依頼で、今後もマーケットの開拓が期待できる。販売では、大学等に18台納品した。

【収益事業③】

高齢者の介護予防事業として品川区からの委託を受けて、健康マジシャン、料理教室等を行った。

2018年度収支実績

事務局長から「収入は前年度より約1977万円減ったが、支出も約2177万円減り、結果として、収支差が約200万円改善し、赤字も約48万円になった」と報告された。

次いで、鈴木誠監事から監査報告があった。

議長が出席会員に質問を求めたが出なかったため、採決に入り、第1号議案は異議なく承認可決された。

第2号議案

2019年度事業計画

事務局長と担当理事から提案趣旨の説明があった。

【公益事業①】

千葉県福祉ふれあいプラザは、第4期指定管理3年間の初年度になる。中学校技術・家庭科の指導要領に介護が新たに加わり、千葉県から中学校教職員研修の依頼が来ている。市町村との連携を深めた、地域の実情に合った出張県民研修を積極的に行う。使用不可能となっていたトレーニングマシンの買い替えが実現したので、利用者増を目指す。

第三者評価事業は、質の高い評価をするため評価件数を絞り、中期計画の仕上げを行う。国のガイドライン等も示され、東京都、神奈川県等の第三者評価制度も大きく改定されるので、対応できる事業体質を構築する。

「ふれあいねっと」は、定期発行や会員の方々が興味を抱く誌面づくりを目指す。

【公益事業②】

「みなと*しごと55」は、港区や他団体との協力体制の強化、広報強化による認知度向上、マッチングの精度向上に努

めていく。

【公益事業③】

千葉県福祉ふれあいプラザの出張県民研修や他団体との協働企画として、コミュニティカフェ開設講座を2期開催する。1day講座も1回行う。

【収益事業①】

生活支援サービス研修を年8回、シニア生涯ワーキングセミナーを年60回行う。また、八王子市内で就職相談会を年2回開催する。

【収益事業②】

高齢者疑似体験事業は、クリニックや薬局など、高齢者と接する機会が多いところで導入しやすい低廉研修パックを企画し、新規顧客獲得につなげる。また、今年度は地方におけるインストラクター養成に向け、テストケースとして沖縄県社協、そして広島のポイントにおいて、研修を行う。

認知症疑似体験事業は、新しいプログラムを研究・開発して、事業拡大に取り組む。

【収益事業③】

品川区委託事業を継続する。

事業計画に関連して、千葉県福祉ふれあいプラザの指定管理期間の変更について質問が出され、質疑応答がなされた。議長が採決に入り、第2号議案は異議なく承認可決された。

理事一覧 (2019~2020年度)

役職	氏名	所属等 (2019年12月現在)
会長 (代表理事)	京極 高宣	社会福祉法人浴風会 理事長、 国立社会保障・人口問題研究所 名誉所長
理事長 (代表理事)	升田 忠昭	AARP 国際部日本事務所 代表、 高齢社会 NGO 連携協議会理事
常務理事 (業務執行理事)	小野澤 誠	アクティブシニア就業支援センター 「みなと*しごと55」 所長
〃	小林 里美	本部 事務局長
〃	平野 陽子	本部 研修・教育事業部長
〃	西野 雅信	千葉県福祉ふれあいプラザ 統括責任者
理事	浅川 明子	本部 事務局職員、 高齢者疑似体験インストラクター
〃	小川 眞誠	一般社団法人日本ゲール協会 理事長
〃	角湯 千鶴	スペースデザイン ACT ㈱ 代表、 福祉インテリアデザイナー
〃	小町 純一	千葉県福祉ふれあいプラザ サブマネジャー
〃	高倉 幸次	WAC 近畿ネットワークセンター 代表、 WAC ほっとケアまほろば 代表
〃	茶山 ちえ子	WAC 中国ネットワークセンター 代表、 市民福祉ネットワークひろしま 代表幹事
〃	濱 洋子	NPO 法人福祉コミュニティ大田 代表
〃	藤井 紘一郎	WAC 会員、福祉サービス第三者評価者
〃	町野 美和	千葉ケア企業組合 代表
〃	横濱 敬子	NPO 法人 WAC まごころサービスみやぎ 代表
監事	鈴木 誠	税理士
〃	橋谷 創	社会保険労務士

第3号議案

理事の任期満了に伴う定期改選

第4号議案

監事の任期満了に伴う定期改選

議長が、「役員選挙は2017年5月24日に改定された役員選挙管理規程に基づいて実施される」として、鷹野義量選挙管理委員長に対し、選挙の実施方法について説明を求めた。
続いて、選挙管理委員長から経過報告および投票方法の説明があり、出席会員は投票に入った。

選挙管理委員長が「理事立候補者16人、監事立候補者2人が有効投票数の過半数を超える賛成を獲得した」と選挙結果を報告し、賛成多数で第3号議案、第4号議案は承認可決された。なお、個別の投票結果は別途閲覧できるようにした。

以上で、定時総会の議案審議はすべて終了し、議長は閉会を宣言した。

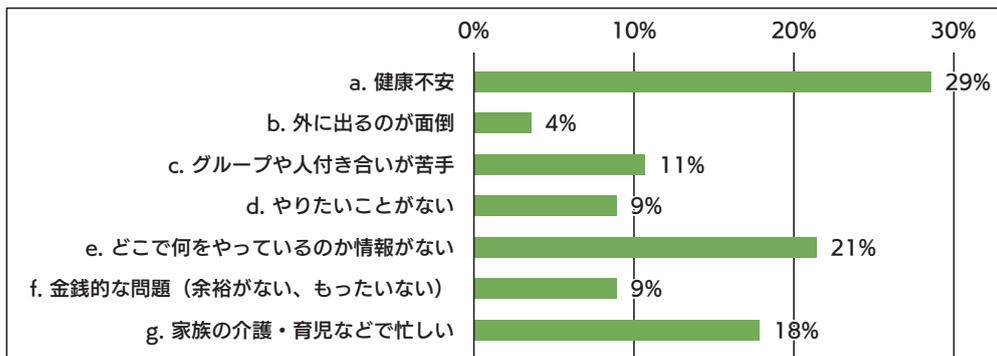
15分の休憩の間に、第3回理事会を開き、代表理事と常務理事（業務執行理事）を選出した（左表参照）。今年度の常務理事は、業務執行者に絞った体制となった。
引き続き同会場で懇親会を開いた。

2018年度収支実績

事業名	収入			支出			収支差					
	①	②	③	④	⑤	⑥	①-④	②-⑤	参考			
	収入予算	収入実績	達成率	支出予算	支出実績	消化率	予算収支	収支実績	2017年度 収支実績			
事業	公1	千葉県指定管理事業	87,300	87,441	100%	87,300	89,964	103%	0	-2,523	-3,499	
		福祉サービス第三者評価事業	7,500	18,460	246%	7,500	16,121	215%	0	2,339	462	
		ふれあいねっと	0	0	-	3,000	1,436	48%	-3,000	-1,436	-121	
		計	94,800	105,901	112%	97,800	107,522	110%	-3,000	-1,620	-3,157	
	公2	みなと*しごと55	24,604	24,604	100%	24,604	24,604	100%	0	0	0	
		計	24,604	24,604	100%	24,604	24,604	100%	0	0	0	
	公3	コミュニカカフェ事業	790	387	49%	490	507	104%	300	-121	-411	
		計	790	387	49%	490	507	104%	300	-121	-411	
		公益事業合計 (A)	120,194	130,892	109%	122,894	132,633	108%	-2,700	-1,741	-3,568	
	収1	受託研修	30,000	32,069	107%	20,000	28,898	144%	10,000	3,171	2,856	
		計	30,000	32,069	107%	20,000	28,898	144%	10,000	3,171	2,856	
		収2	高齢者疑似体験	17,000	14,394	85%	9,000	10,585	118%	8,000	3,808	5,425
			認知症疑似体験	4,000	2,661	67%	3,200	2,376	74%	800	285	508
		計	21,000	17,055	81%	12,200	12,961	106%	8,800	4,093	5,933	
	収3	料理教室・健康マージャン等	7,000	7,010	100%	6,900	7,618	110%	100	-608	-1,374	
	計	7,000	7,010	100%	6,900	7,618	110%	100	-608	-1,374		
	収益事業合計 (B)	58,000	56,134	97%	39,100	49,477	127%	18,900	6,657	7,415		
	公益事業・収益事業 (A+B) 合計	178,194	187,026	105%	161,994	182,111	112%	16,200	4,916	3,846		
共通	会費収入・雑収益	9,500	10,535	111%	0	0	0%	9,500	10,535	9,688		
	管理費	0	0	0%	25,000	15,124	60%	-25,000	-15,124	-15,084		
	組織運営費	0	0	0%	700	810	116%	-700	-810	-942		
	共通 (法人会計) 合計	9,500	10,535	111%	25,700	15,934	62%	-16,200	-5,399	-6,337		
	公益法人合計	187,694	197,561	105%	187,694	198,045	106%	0	-484	-2,491		

(単位：千円)

●就労以外の社会参加活動を行うにあたって妨げとなっていることがありますか。



●社会参加活動に参加して「とても良かった」と思ったことがありますか。

a. ある	54	66%
b. ない	12	15%
無回答	16	20%
計	82	100%

◎上記設問に関連した主な自由記述（それはどんなことですか）。

【人とのつながり】

- ・友達がたくさん出来た。より知人が多くなる。
- ・人脈。ネットワークの広がり。多様な価値観の人との出会い。人とのつながりが豊かになった。人との関わり、今まで気付かなかったことに出会えること。地元の方々との交流が増えた。地域住民とのふれあい。

【充実感・刺激】

- ・心の安定、幸福感、充実感を得た。気持ちがスッキリする。
- ・人に役立つ、自分に刺激をもらう。自分の勉強にもなる。地域のことで知らないこと等を知ることができる。周囲の人たちの考え方や意識の高さを知ることができる。全く自分とは無縁だと思っていた世界

がたくさん身近にあることを知ることができた。

- ・社会をつくっている実感がある。やりがいがある。
- ・多くの前向きな人との出会い。年齢を感じない。気持ちが前向きになる。

【その他】

- ・感謝され、活動自体に感謝の気持ちになれた。「ありがとう」の言葉をよく耳にする。
- ・NPO 活動で居場所を運営し、喜んでもらえた。
- ・保護司として対象者と一緒に社会活動ができた。
- ・話し合いの機会を持つことができた。
- ・世の中の動きに結びついた。
- ・健康マージャンで体調（しびれなど）が良くなった。

●WACに期待している・やってほしいことがあったらお書きください。

【広報・情報提供】

- ・「ふれあいねっと」の充実。
- ・WACのメルマガを使って、参加のしやすい情報発信をしたい!
- ・高齢になるにつれて体調、交通の便、介護中などで社会参加できない人が多くなるが、スマートフォンなど使える人が増えているので、SNSを活用したコミュニティやセミナーについて情報配信してもらいたい。
- ・地域活動の好事例、画期的な他団体の取り組みをわかりやすく紹介してほしい。
- ・少人数（3人〜）でも活動できる事例を示してほしい。
- ・「いったん、ひきこもり状態になった人が、社会参加のきっかけを得て、生き生きと活動するようになった」事例を探し、その理由を分析して、公開してもらいたい。
- ・補助金・助成金情報がほしい。
- ・趣味や食事および健康増進についての情報の提供。
- ・デイケア等でお年寄りが生き生きと参加できる内容、実践されている内容、施設の紹介等。
- ・介護される側の心構えや現在の介護現場・医療現場での受ける側の考え方をシミュレーションできるような情報提供。
- ・外国人介護人材への学習支援について教えてほしい。
- ・家終い、墓終いの仕方。

- ・高齢者疑似体験・認知症疑似体験の情報が、一般の方に十分に伝わっておらず、活動の場も少ないので、PRを積極的に行ってほしい。

【事業・活動の提案】

- ・散歩程度の「文化遺産めぐり」。
- ・地方に住んでいるので、行事等で年に数回上京する機会があればうれしい。名所巡りして皆で食事を楽しむとか…。
- ・活動を通した社会への発信。
- ・人材不足対策、年金源資増抑制、医療費増大抑制等のために、高齢者の就労機会の創造に対する提言。
- ・日本心身機能活性指導士会の活用等認知症予防。
- ・「孤独病」、ギャンブル依存症、認知症の未病サポートで囲碁を活用することを認識してほしい。
- ・コミュニティカフェ全国交流会を継続的に開いてほしい。
- ・各地にコミュニティカフェが増え、多世代が参加できる居場所づくり。人口の30%近い高齢者層の経験、知識、人脈を生かし、おしゃべり会、時に食事会、各種教室が開催できるような支援。
- ・今後は、高齢者だけではなく若者や子ども、そして急増する外国人定住者も巻き込める活動をもっと中心に置いてほしい。また資

金面での援助や儲かる仕組みもそれなりに構築していかないと経済的に苦しくなり長続きしない。

- ・会員を増やすためのPR活動。
- ・社会人の参加は、WACに改革をもたらすと思います。若い人、現役の参加が必要です。社会人が参加しやすいよう、夜間（18～21時）にイベント等を行ってみたいかがでしょうか。

【会員への支援】

- ・地域の活動の支援（助成、広報等）。地域団体のバックアップ。
- ・年に1回でよいから事務局から家庭訪問してほしい。
- ・高齢の方も多く、年々参加者が少なくなっている。新しい会員の募集活動に協力いただければありがたい。
- ・永年の会員に対する記念品を検討してみてください（ボールペン等）。

【その他】

- ・現状のまま結構です。いつまでも活動を続けてください。
- ・今のWACでは期待にこたえてもらえないと感じている。
- ・年会費はどのように使われていますか？

2019年WAC会員アンケート調査結果

2019年2月、「生涯現役」「人生100年」と言われている時代において、WAC会員の皆様のために協会の在り方等に生かす目的でアンケートを実施しました。FAX等での返信方法をとりましたので回答数を心配しましたが、19都道府県から82通のご回答を頂くことができました。会員の皆様の一人ひとりのお顔が見えるような内容でした。

また、回答結果から、WAC会員の特徴も浮かび上がってきました。自由記述に多くのご意見を寄せていただきましたので、併せて紹介します。ご協力いただきました会員の皆様に感謝申し上げます。

公益社団法人長寿社会文化協会 (WAC)

【概要】

①調査対象者数：WAC会員（正会員・賛助会員）550人

※2月・3月満期分会費納入のお知らせに同封したため、全会員ではない。

社会参加活動の妨げとなっているものとして、29%が健康不安、21%が「どこで何をやっているか情報が無い」、18%が「家族の介護・育児などで忙しい」と答えている。

②回答者内訳

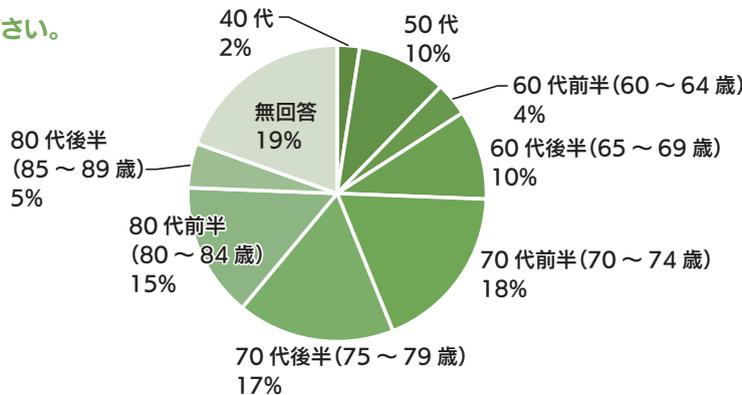
地域：19都道府県82人、性別：ほぼ同数
 年齢：40代から80代まで（回答者の55%が70代以上）
 生活：91%が生きがいを持っており、76%が健康であると答えている。
 37%が就労しており、44%の同率で「健康・スポーツ活動」「町内会などの地域活動」、46%が「福祉などのボランティア活動」、65%が「趣味・教養などの文化活動」に参加している。

③平成30年度「高齢者の住宅と生活環境に関する調査」(内閣府)との比較

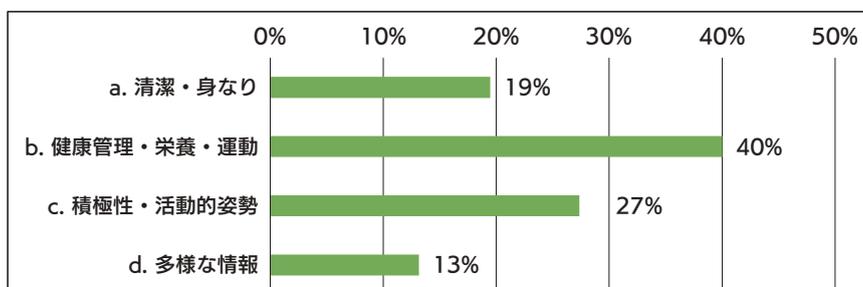
生きがいを感じている高齢者は、内閣府調査では83%となっているが、WAC会員は91%と上回っていた。
 何らかの社会的活動を行っている高齢者は、内閣府調査では約40%であるのに対して、WAC会員は46%が福祉などのボランティア活動に、44%が町内会などの地域活動に参加している。加えて機会があれば参加したいという積極性も高く、WAC会員が比較的にアクティブであることがわかる。

【主なアンケート結果】

●あなたの年代を教えてください。



●生活をより良くするために大切だと思っていることは何ですか（複数選択可）。



◎上記設問に関連した主な自由記述

- すべて大切。心身の健康に最大限の関心を持つこと。謙虚さ、穏やかさ。可能な限り多様な人たちとの交流を重ね、学び、時に教えることも。
- 特に友人たちとの交流が生活上の活力になっています。シニアの団体に入っていて時々趣味のサークルの集い、塾と称する勉強会、社会貢献としてボランティア活動等、その後は飲み会で、飲んで食べておしゃべりして笑っています。

- おしゃべりできる友人をもつこと、趣味をもつこと。
- 必要とされる!という実感など。
- 日々、計画的に動き、何か人々の役に立つ活動に参加する。
- 自分が大好きな仕事で一定の報酬を得ることができる。心身の健康の維持。
- 希望、わくわくする気持ち、笑顔、挨拶。
- 独居老人向けの食事内容についての情報提供（隠れ栄養失調を心配するため）。

※自由記述は、同様の回答は一部集約しています。

主要事業の報告

3年連続50件以上評価

福祉サービスの第三者評価事業

2003年、WACが東京都から福祉サービスの第三者評価機関として認証され、翌16年に評価機関として初めて評価を行ってから15年がたちました。

東京都には約1万の評価対象施設があり、2017年度はうち、3190施設が受審しています。東京都は今後の第三者評価事業を展望し、対象施設・受審施設とも増加傾向にあり、多様性のある施設・事業所と利用者への理解が評価機関に求められるとしています。

WACは評価者や事務局員に対して研修や会議を重ねてきました。また、第三者評価は1件につき3人ほどの評価者で実施するのですが、うち1人は説明から評価後のフォローまでリーダー的役割を担います。WACは主たる評価者を含めて評価者を43人抱えており、多様な事業所と利用者にこたえる基となっています。

WACの2018年度の評価実績は、高齢者・障害者・子ども家庭施設・事業所で50件に上り、2019年度も順調に契約数を伸ばしており、3年連続で評価件数は50件以上となる見込みです。現在、東京都の評価機関は120団体ありますが、その中でWAC

● WAC「福祉サービスの第三者評価事業」の歴史

年度	出来事
2003(平成15)	東京都から福祉サービスの第三者評価機関として認定される。
2004(平成16)	評価者6人によって、2件(特別養護老人ホーム、グループホーム)の福祉サービスを評価する。
2005(平成17)	WAC総会で初の収入予算化が承認される。評価者数が12人となる。
2007(平成19)	東京都が入所施設、保育園、更生施設に第三者評価の受審を義務化。評価依頼が増加する。
2008(平成20)	価格競争に対応できず、年間事業収入予算500万円に対して、実績は200万円に留まる。
2010(平成22)	公益社団法人として内閣府から認定され、第三者評価事業は公益事業となった。事業責任者が交代する。
2011(平成23)	東日本大震災発生。収入実績が600万円を超える。専任の事務局員1人が入職する。
2013(平成25)	収入実績が1,300万円に達する。リターン実績の向上など営業展開が課題となる。
2018(平成30)	評価件数が事業計画の2倍となる50件に上り、収入実績が1,800万円を超える。専任事務局員4人、評価者43人が従事。
2019(令和元)	事務局体制の強化に取り組んでいる。評価件数は前年度を上回る予定。



は評価実績を積んだオンラインワンの評価機関を目指します。

(事務局長・常務理事／小林里美)

生涯現役の環境づくりに寄与

みなと*しごと55(無料職業紹介事業)

アクティブシニア就業支援センター「みなと*しごと55」は、おおむね55歳以上の求職者を対象とした無料職業紹介事業、就業促進事業を行う、多様な働き方を支援する「就業支援窓口」です。この事業の対象者である55歳以上のアクティブシニアは数多くいます。2019年8月現在、65歳以上人口は3571万6千人(全人口の約28%)であり、今後、働く意欲のある高齢者が、年齢に関係なく、その能力や経験を生かして生涯現役で活躍し続けられる社会環境を整えていく必要があります。

以上のような状況の中で、みなと*しごと55は一人ひとりの経験や技術・能力・希望に沿うよう、きめ細かな相談や情報提供を行いつつ、具体的な就業への道を切り開いていくことを目指し、求職者が安心して相談・登録に訪れることができる場所となるよう心がけています。

相談業務においては、専門のカウンセラー(およびそれに準ずる能力を有する者)が対応し、求職者自身の働き方、職業の選択などについて幅広く考えられるようアドバイスします。その際、求職相談者に対しては、かつてのキャリアや待遇等にこだわることなく、新しい自分探しをしなればならないこと、地域で暮らす市民としての生活を考える必要があること、求人状況等に合わせて自分の仕事探しをする必要があることなどを伝え、サポートして

います。

2019年度は

- ・ 再就職支援セミナー・合同面接会を4回開催
- ・ 東京しごと財団と共催による「シニアお仕事フェア」の開催
- ・ 東京都主催「シニアしごとEXPO 2019」への参加

など、積極的に活動しています。これからも、WACの二部門としてみなと*しごと55は、一億総活躍時代のために無料職業紹介事業に力を入れていきます。

(所長／小野澤誠)



小野澤所長が講師を務める再就職支援セミナー

1800人余が福祉機器展に参加 感動呼んだ外国人介護職のスピーチ

千葉県福祉ふれあいプラザ(千葉ふれプラ)

11月15日(金)～16日(土)「第14回千葉県福祉機器展2019」を開催し、出席者を含め1800人余の参加がありました。

超高齢社会の到来に伴い、介護する人・される人双方の負担軽減が大きな課題となっています。家庭でも施設でも、支援する人の確保が困難な状況下、今回の福祉機器展ではロボット技術により本人をアシストする新しい機器や、見守りセンサー、福祉車両等介護の負担を軽減する製品が多数展示され、体験、導入相談などにぎわいました。

同時開催セミナーでは、外国人介護人材に関するものが目玉でした。まず、千葉県福祉人材確保対策室から、外国人介護職就業促進のために、受け入れ施設や日本語学校、介護福祉士養成施設に補助し



スピーチした5人に西野雅信統括責任者が表彰状授与

ていることや、外国人や介護施設の相談に乗る「千葉県外国人介護人材支援センター」を開設したことなどが説明されました。外国人材確保事業に携わっている中山哲志さんからは、「外国人の雇用に当たっては、日本との国情の違いに留意して対応しなければならぬ」などのアドバイスがありました。

現在介護職または介護職を目指している外国人スピーチ大会ではベトナム、韓国、スリランカ、フィリピンとお国、滞在歴がさまざまな5人が素晴らしい発表をしました。そのひとりの韓国人女性は「慣れない仕事に難しくて、いつも泣いていたら、猫背の無口のAさんが『私が見守ってあげるから、私の前では思い切り泣いてよいよ』と励ましてくださいました。Aさんが亡くなる前日に夢に出てきて、『背中を伸ばしてゆつくり寝ることができたので、家族に楽になったと伝えて』と言ったので伝えたら、皆さんが涙を流して、私も胸がキュンとしました」などと話すと、70人以上の参加者は感動していました。

参加者には、福祉用具についての理解を深めると同時に、本人の健康や介護予防、介護職の健康管理、外国人との向き合い方などさまざまな角度から理解を深め、考える機会となったものと思われま

(広報担当/昆布山良則)

元五輪選手・中澤さんがふれプラ退職 利用者との交流でコミュニケーション能力を磨く

介護予防トレーニングセンターでトレーナーを務めた中澤さえさん(35)が3月末、退職しました。

中澤さんは東京都調布市出身。お父さんの勧めで8歳から柔道を始め、78kg級で2004年、05年アジア選手権優勝、全日本女子柔道選抜選手権で05年から3連覇、07年の世界選手権で銀メダルを獲得するなど、輝かしい戦績を挙げました。しかし、北京五輪を半年後に控えた08年3月に右ひざ靭帯を痛め、五輪に出場したものの初戦で敗退。五輪後も不振が続き、09年末に現役を引退しました。

その後は、オーストラリアに語学留学して現地大学で柔道を指導したり、帰国後は整体師養成学校に通ったりして



利用者と談笑する中澤さん

ましたが、靭帯のけがをした時指導を受けたトレーナーの仕事に興味を持ちました。

やはり柔道選手だったお姉さんの一家がふれプラの比較的近くに住んでいたことから、その近辺でトレーナーの職を探しました。「スポーツクラブなども回りましたが、ふれプラは和気あいあいとしたアットホームな雰囲気を感じました。公共施設なので入りやすかった」と、16年2月に入職。週3回、マシントレーニングや軽体操教室で利用者を指導しました。

「体のバランスを整えて機能改善を図るという観点で各人のメニューを考えたりしましたが、教えたことを自宅ですべて動かしがよくなった」と感謝されたりして、この仕事をやってよかった」と話します。

「よく気が利く人」「さっぱりとしていて話しやすい」が同僚の評価。「人見知りする性格で人と交わるのは得意じゃないと思っていました。いろいろな人と話すことで、自分にもコミュニケーション能力が隠れていることに気づきました。高齢の利用者といろいろな話ができて、いい経験になりました」。

4月から都内の鍼灸師養成の学校に3年間通い、資格取得を目指しています。中澤さんの新しい活躍に期待したいと思います。

(広報担当/昆布山良則)

「ジャパネットたかた」で3回研修

高齢者疑似体験「うらしま太郎」

7月30日、テレビ通販でおなじみのジャパネットたかた本社（佐世保市）に向向き、高齢者疑似体験研修を実施しました。この研修に先立つて、同社では4月19日に静岡県御殿場市で全国部課長研修を行いました。主力顧客である高齢者の立場に立つて販売商材を触ってみようという要望があり、WACに研修依頼が来ました。この時にうらしまを体験した役員の方々から高評価を頂き、「通販番組やカタログの制作を担当している本社若手スタッフにも体験させ



高齢者の体になって、コードレス掃除機や炊飯ジャーを操作（東京オフィス）



白内障になったら、カタログがどのように見えるかを体験（東京オフィス）

たい」ということで、7月の研修会開催となりました。

参加予定者が75人という大人数のため、研修会は3回に分けて行いました。研修とりまとめを行っている部門が、受講予定者全員にどの商材を体験したいか事前アンケートをとり、回ごとに商材をすべて入れ替えるという周到な準備と熱意の下、研修スタート。扇風機、コードレス掃除機、炊飯ジャー、電動モップ、布団乾燥機など、現在通販で高齢者に人気の高い商品を何

度も操作。また、カタログの見え方をチェックして、自分たちが伝えたい情報がきちんと高齢者に届いているかという視点で熱心に取り組みました。

研修参加者からは、「今まで押しポイントだと思っていたところがむしろ不便に感じた。早急に見直す！」「色使いを大幅改善しなくてはいけない」「テレビ画面やカタログを通して高齢者の方々に寄り添っている気持ちを届けるにはどうしたらよいか」など、仕事に生かすべく、積極的な意見が飛び交いました。

また、この後、8月22日に東京オフィスで行われた、入社5、6年対象の階層別研修にもうらしまを採用していただきました。ここでも、普段は体験できない心身の変化

をしっかりと受け止め、業務改善に取り組みようと、さまざまなアイデアが出ていました。10月にも大手ネット通販会社の社員総会で、アイマスクをして白杖を使ったり、白内障体験メガネと手袋をして、その会社のページで注文したりする研修を行いました。高齢者の利用も多い通販会社からの研修依頼は、今後も増えるものと思われま

本部インストラクター養成研修会 開催

10月3日、4日にWAC本部で、今年度2回目となるインストラクター養成研修を開催しました。今回は秋田、宮城、福島、群馬、埼玉、千葉、東京、富山、愛知と全国各地から17の方が参加。職種も行政職員、介護講師、病院職員、企業社員



うらしま太郎セットをフル装着して、箸でおはじきをつまむ（WAC本部）

等さまざまで、それぞれの職場で高齢者疑似体験を活用すべく、2日間の研修でうらしま研修のノウハウを学びました。今回の研修では、社内にも初めてうらしまを導入する企業3社の方が参加し、社内研修のファシリテートのポイントや、疑似体験を社外プレゼンテーションや取引先への研修として営業活動に利用する方法などについて、熱心な質問がありました。

インストラクター研修は、職種は違うけれども高齢者に寄り添う視線を持って仕事をされる者同士が一堂に会するまたとない機会です。充実した2日間となりました。

今年度の最後の本部インストラクター研修は、2020年3月5日（木）、6日（金）を予定しています。

（研修・教育事業部主任／榊芳子）

シニア生涯ワーキングセミナー 都内で年間60回開催

生涯現役社会推進事業受託

昨年度に引き続き、公益財団法人東京しごと財団の「生涯現役社会推進事業」を受託し実施しています。

シニア層における「ライフプラン・マネープランの重要性と継続的就労の実現」に必要とされる、就業意識・職種選択方針の再構築を理解するためのセミナー「シニア生涯ワーキングセミナー」を都内各所のハローワークなどを会場にして年間60回実施しています。

現在、日本は健康寿命が世界の長寿社会を迎えており、今後のさらなる健康寿命の延伸も期待されます。

こうした「人生100年時代」と言われる時代には、65歳定年以降も働きたいと就労を希望する高齢者が増え続けることが予想され、企業にはこうした高齢者を有効活用していく時代が到来しているといえます。

また、65歳以上の高齢者の就業者数は14年連続で増加し、807万人と過去最多となっています（2018年労働力調査）。

2018年10月の未来投資会議で、安倍首相は「企業の継続雇用年齢を70歳まで引き上げることを検討するよう指示し、高齢者の希望・特性に応じて多様な就労機会の選択ができるように検討したい」と述べていました。

このように、社会の仕組みが変革の時を迎えるにあたり、個人の人生設計（ライフプラン）もまた、人生100年時代に合わせた、より長期的なプランニングが求められると考えられます。

昨年度は2000人近くが参加

シニア生涯ワーキングセミナーでは、シニア世代の一人ひとりに合ったライフプランを構築するための知識として、マネープラン



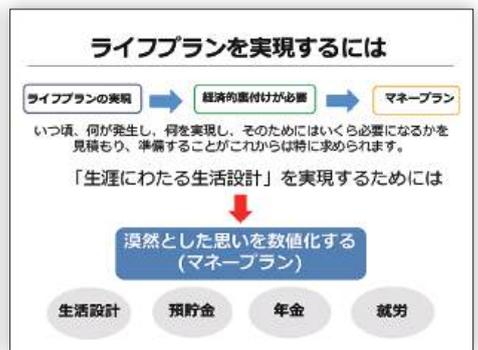
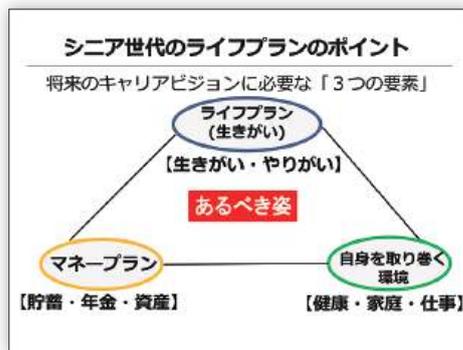
セミナー風景

の必要性や社会保障制度の説明を行います。また、家計のバランスシートやキャッシュフロー表作成のシミュレーションワークを行い、漠然とした思いを数値化することで、生涯にわたる生活設計の実現に向けた準備とします。

そして、再就職に関しては、意欲あふれる就職活動を行うために、シニア世代におけるさまざまな変化（経済面・健康面・社会的地位）を知り、自らの立ち位置を理解した上で何を目的に働きたいのか、いつまで働きたいのか、周囲（家族等）に理解を得られているかなど、どのような働き方が自身にとって良いのかを具体的な実例を取り上げて、再就職の現状と考え方を学んでいただく内容にしています。

本事業においてWACでは、問い合わせ対応からレジュメの作成、当日のセミナー運営、講師の手配、アンケート集計などを

●セミナーで使用しているスライドの一部



- ### シニア層の働き方を考える
- ✓ **何を目的に働きたいのか**
 - ・生活費の確保・補充のため(いくら必要なのか)
 - ・生きがいのため、健康維持のため
 - ・社会と関わり続けたいから、世間体を保つため...etc
 - ✓ **どのような仕事で、どれくらい働きたいのか**
 - ・キャリアを活かした仕事を見つけられるか? 就職しやすい職種に変更するか?
 - ・フルタイムは必要か? (週日回が適正か?)
 - ・一日の勤務時間をどうするか? (短時間での勤務が適正か?)
 - ✓ **いつまで働きたいのか**
 - ・65歳? 70歳? 働けるならいつまでも?
- そして、周囲（家族など）に理解を得られているか

事務局として対応しています。昨年度は多くの会場で申し込みが定員を超え、計2000人近くの参加となり、シニアの方々の本事業への関心の高さを肌で感じるようになりました。

本年度も引き続き、各会場とも申し込みが殺到しており、昨年度を上回る集客が期待できそうです。

(研修・教育事業部/向井隆泰)

地域で交流し、助け合う活動が広がる

WAC 仙台竹細工趣味の会

☎ 982-0011 宮城県仙台市太白区長町 1-7-28-1203
☎ 022-248-5958 ✉ s-take1203@wa3.so-net.ne.jp
昔懐かしい竹工芸品の作製を通して、会員相互、あるいは地域社会との交流を図り、長寿社会をエンジョイすることを目的に活動している。作製用の材料は、仙台七夕まつりで使った竹をリサイクルしている。

WAC ふれあい天童

☎ 994-0011 山形県天童市北久野本 2-4-18
☎ 023-653-0393 編 023-653-0398
🌐 <http://www.2plala.or.jp/fu-te/>
移動サービス、洗濯サービスなどの日常生活支援、居場所を通じた子育て・病児・障害者支援、隔月の昼食会、4月に県内の桜の名所を巡る花見の会、10月に紅葉見学、芋煮会、5、11月に餅つきなどを行っている。

関東

WAC とちぎ

☎ 320-0828 栃木県宇都宮市花房本町 5-5 有限会社タスコ
☎ 028-637-2488 ✉ info@kenkouma-t.com
🌐 <http://kenkouma-t.com/>
健康マージャン教室の参加者は昨年 1 万人を超えた。初心者も大歓迎で定員 20 人。公民館の「健康マージャン講座」への講師派遣やマージャン卓・牌の無料貸し出しもしている。「ねんりんピック健康マージャン種目」栃木県代表選手選考大会の主管団体を担当している。

WAC ぐんま

☎ 378-0061 群馬県沼田市岡谷町 1077-2
☎ 0278-22-0705 ✉ oze-info@oze-nadeshiko.com
🌐 <http://www.oze-nadeshiko.com/>
年 6 回、偶数月には茶のみ処「なでしこ」で、3A 方式認知症予防ゲームを沼田市で初めて定期的に行っている。奇数月には、茶のみ処「高橋場」で手芸教室や体操教室、なでしこで「ふまねっと運動」を行っている。

WAC 浦和 ケア・ハンズ

☎ 330-0073 埼玉県さいたま市浦和区元町 2-5-1 アーバン元町 102
☎ 048-813-1006 ✉ c9a9r5e@nifty.com
🌐 <https://carehands1995.jimdofree.com/>
介護保険枠外でのホーム・ヘルプサービスを実施している。また、高齢者、障害者への理解、啓発活動として高齢者疑似体験（つくし君）を、市内小学校には無償で利用してもらっている。

WAC 豊齢健康の街づくり

☎ 356-0054 埼玉県ふじみ野市大井武蔵野 1352-11
☎ 090-8594-9795
健康マージャンを通して介護施設訪問、健康マージャンの出張講座（出前教室）を行っている。また、市民フェスティバルに健康マージャン体験コーナーとして 2 卓出展している。

千葉ケア企業組合

☎ 261-0011 千葉県千葉市美浜区真砂 1-10-18
☎ 043-278-9298 ✉ machinomiwa@jcom.zaq.ne.jp
介護保険事業として居宅介護支援事業、通所介護事業、訪問介護事業を実施し、個別ケアを中心にサービスを提供している。また、助け合い事業として、高齢者・障害者のたまり場、コミュニティカフェを開催している。

北海道

わっく室蘭

☎ 050-0072 室蘭市高砂町 1-10-17
☎ 0143-45-2034 ✉ wacmuro@oregano.ocn.ne.jp
今年度で 28 年目を迎えることができた。会員が集い交流を深めるための各種行事、趣味の仲間が集まり楽しむサークル活動、各種案内や会員情報が載っている会報誌「わっく室蘭だより」の隔月奇数月発行、といった活動を行っている。

ワックさっぽろ

☎ 047-0021 小樽市入船 2-11-19 さかえ荘
☎ 080-3636-7664
スウェーデン体操とデンマーク体操を融合した「はまなす体操」の普及活動を行っている。

東北

WAC 東北ネットワークセンター

☎ 984-0051 宮城県仙台市若林区新寺 1-5-26
レイナー仙台 407 Love the Light lighting design office 内
☎ 022-215-1830 ✉ lovethelight@sage.ocn.ne.jp
有志で毎月 1 回読書会を行い、毎回 10 人前後が参加している。

WAC 翻訳・通訳サービス

☎ 983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡 3-2-5
サンライズ仙台 2 階 LSC 内
☎ 090-2845-8901 ✉ kaneko111@hotmail.co.jp
翻訳・通訳サービスを通して、社会への貢献を旗印に活動している。有償ボランティアとしての翻訳・通訳サービスの仕事を獲得するとともに、無償ボランティアワークも行っている。

WAC シルバー三友会

☎ 983-0822 宮城県仙台市宮城野区燕沢東 3-20-60-101
☎ 090-1377-3188
健康マージャン「阿佐田哲也の会」は、毎回大会形式で「終活マージャン」をしている。「瓢筆友の会」は毎年育てて加工した瓢筆を小学校に届け、6 年生の卒業記念の工作で使ってもらっている。

WAC まごころサービスみやぎ

☎ 980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉 1-16-4 センチュリー青葉 601
☎ 022-215-4353 ✉ waccare@gol.com
訪問介護、居宅介護支援、障害者への支援、自主事業のまごころサービス、保育園（小規模保育事業 A 型）を運営している。

エイジフレンドリーコミュニティ宮城

✉ agefcmiyagi@gmail.com
🌐 <https://www.facebook.com/afcsendai/>
死についてカジュアルに語る「デスカフェ」、集まった人が一緒に食事を作り、食べながら交流する「まち食」、紅茶を飲みながら編み物をして国際交流を図る会などを開いている。

WAC 介護福祉サポートセンター

☎ 230-0074 神奈川県横浜市鶴見区北寺尾 2-13-18
☎ 090-1769-5602 ✉ tsukamoto.h.0721@gmail.com
介護関係事業を行っている。

WAC プライム・ケア・トレーニング (WAC P.C.T)

☎ 241-0836 神奈川県横浜市旭区万騎が原 29
横濱万騎が原行政書士事務所内
☎ 045-391-3501 ✉ tak1031ashi@gmail.com
介護資格取得のサポート、地域コミュニティ（主に同窓会）活動に対する支援策調査。

WAC あいネットワーク川崎

☎ 211-0001 神奈川県川崎市中原区上丸子八幡町 816-12
株式会社アイ・ビー・エス内
☎ 044-431-5354 ✉ yano@we-ibs.com
コミュニティカフェ「みよしの」をオープンして9年目。蕎麦打ちの技術を学び、高齢者施設や被災地等で振舞っている。認知症予防カフェも開催し、蕎麦打ち、認知症予防トレーニング、音楽、コミュニケーション紙芝居などを取り入れている。

Ribinet (福祉理美容師ネットワーク)

☎ 216-0026 神奈川県川崎市宮前区初山 1-38-3
☎ 044-976-9995 ✉ houmonribiyou@gmail.com
🌐 <https://ribinet.com/>
📘 <https://www.facebook.com/ribinetwork/>
🐦 https://twitter.com/ribi_net
訪問理美容業界の裾野を広げ、技術者の雇用促進や専門的で安全性の高いサービスが提供できるように努めている。介護施設だけでなく、一番施術が困難とされる在宅の人に対応できる訪問理美容師を育成している。

中部

WAC 輝き

☎ 921-8015 石川県金沢市東力 1-153
☎ 076-256-3641 ✉ wac-2097@kanazawa-net.ne.jp
🌐 <https://www.wackagayaki.org/>
福祉有償運送で会員の方を送迎し、「安く安全に送迎してもらっている」と喜んでもらっている。

Garage Cafe ホットスペース Myu

☎ 400-1515 山梨県中央市高部 1785
☎ 090-5546-5100 ✉ cij.kofu@tomato.plala.or.jp
健康維持・増進のための心と体のセルフケアとして、百歳体操・キャパシター体操、心のケアやグリーフケアのワークショップを行っている。

ながの健康麻雀サロン

☎ 380-0836 長野県長野市南県町 1041-2 新建第3ビル5階
☎ ☎ 026-241-3989
毎週水・金・土曜日の10～17時に定期的に開催する。その他、マージャンを習いたい人には教室を開いて指導している。

WAC 清水さわやかサービス

☎ 424-0929 静岡県静岡市清水区日立町 24-17
☎ 054-336-8844 ✉ wacshimizu@sepia.ocn.ne.jp
🌐 <http://www.wac-shimizu.com/>
📘 <https://www.facebook.com/wacshimizu/>
ヘルパー養成講座や介護保険事業、居場所の開設等、助け合い活動に軸足を置いて実践してきた。居場所の活動として、介護予防体操、手芸教室（パッチワーク、刺しこ、クラフト）、歌声喫茶、蕎麦打ち、夕ぐれカフェ等を行っている。

WAC 千葉

☎ 260-0013 千葉県千葉市中央区中央 1-10-10-406
☎ 043-225-4224 ✉ k-network@blue.plala.or.jp
※現在、活動休止中です。

ふれあいネットまつど

☎ 270-2251 千葉県松戸市金ケ作 99-6 NPO 法人たすけあいの会ふれあいネットまつど
☎ 047-710-7450 ✉ fnm2011@r4.dion.ne.jp
🌐 <https://fnm2011.okoshi-yasu.com/>
元気高齢者のための生活支援ボランティア研修会で、受講生に高齢者疑似体験「うらしま太郎」を装着し、生活のしづらさ、不便さを学んでもらっている。

ふれあい大網

☎ 299-3263 千葉県大網白里市柳橋 736-13
☎ 0475-72-5022 ✉ fureais@wine.plala.or.jp
🌐 <http://www.fureais.co.jp/>
高齢者疑似体験「うらしま太郎」のほか、介護支援事業、介護職員の初任者研修・実務者研修等を行っている。

みんなとロボットコミュニティ

☎ 105-0004 東京都港区新橋 5-4-2-1102
☎ 03-5401-7637 ✉ cozy08035495230@softbank.ne.jp
📘 <https://www.facebook.com/groups/348866229077951/>
多様な世代の誰もが生涯を通じて「健康長寿で心豊かに生き活きと学習できる自主活動グループ」として、さまざまな社会参加を率先垂範。高齢者の記憶と認知機能低下に対する生活支援ロボットシステムにおける社会実証に参加した。

風雷社中

☎ 146-0094 東京都大田区東矢口 3-31-8 1階
☎ 03-6715-9324 ✉ in@fuu-rai.com
🌐 <http://fuu-rai.org/>
📘 <https://www.facebook.com/fuurai.japan/>
介護関係、移動支援、ガイドヘルパー講習、DET（障害平等研修）等を行っている。

WAC さしすせそ

☎ 145-0065 東京都大田区東雪谷 4-6-8
☎ 03-3728-6540 ✉ jijiwakuroneko@yahoo.co.jp
品川区からの委託で高齢者の介護予防事業として、「男の料理教室」（2カ所）「わくわくクッキング」「食事処」の3事業を行っている。食事処は大井町高齢者複合施設集会所で開き、西大井いきいきセンターの食堂運営も行っている。

渋谷介護サポートセンター

☎ 150-0046 東京都渋谷区松濤 1-1-3 松濤栄光ビル4階
☎ 03-3469-4361 ✉ npo@shibuyakaigo.com
🌐 <http://www.shibuyakaigo.com/>
主要な活動は、渋谷区の要介護の方へのケアマネジメント。毎月、ケアマネジャーや地域包括支援センター対象の研修会をしている。また、小中学校や渋谷区の福祉祭りで高齢者疑似体験を実施。無料の介護相談は常時受け付けている。

WAC 認知症改善相談センター

☎ 164-0012 東京都中野区本町 6-27-12 豊国ビル 102
☎ 03-3384-1178 ✉ gagolk@m18.alpha-net.ne.jp
🌐 <http://gagoltherapy.com/>
📘 <https://www.facebook.com/gagoltherapy/>
台湾の国立中正大学内に「心身小川教室」が設置され、香港大学が採用する教科書に、認知症等に対する心身機能活性運動療法の効果が取り上げられた。千葉県福祉ふれあいプラザの「ピンピンキラリ初歩麻雀」教室で心身体操、有酸素運動を指導している。

シナジー（相乗効果）

☎ 132-0035 東京都江戸川区平井 7-1-30-C202
☎ 080-7382-0860 ✉ yamashita@cocoe-jp.tech
介護支援システムや防災グッズ等を開発・販売している。

WAC わかやま

☎ 641-0051 和歌山県和歌山市西高松 2-1-4
☎ 073-414-1189 ✉ cfare601@jtw.zaq.ne.jp
🌐 <http://wacwakayama.sakura.ne.jp/>
高齢者疑似体験「うらしま太郎」、高齢者・障がい者広域外出支援、子育て支援、コミュニティカフェ、生きがいづくり、助け合い等の活動を進めている。

中国・四国

WAC 中国ネットワークセンター

☎ 734-0015 広島県広島市南区宇品御幸 3-16-19 茶山ビル 1 階
☎ 082-256-8788 ✉ chikochan@tkcnf.or.jp
会員がお互いに助け合いながら、ポイント活動ができるように支援に努めている。安心して参加いただけるように、ネットワークセンター独自でも保険に加入している。

WAC 広島ふれあいセンター

☎ 734-0015 広島県広島市南区宇品御幸 3-16-19 茶山ビル 1 階
☎ 082-256-8788 ✉ chikochan@tkcnf.or.jp
「困った時はお互い様」の精神で、介護が必要になった高齢者に生活支援や身体介護を行っている。介護保険訪問介護、介護保険枠外ホームヘルプ、高齢者疑似体験インストラクター養成研修、認知症疑似体験研修などを実施。

WAC ひろしま健康麻雀サロン

☎ 733-0852 広島県広島市西区鈴が峰町 30-1-504
☎ 080-3894-8124
毎週水・金曜日、毎月第 3 月曜日の 10～16 時に健康マージャンを開催している。開催中は「耳石」の機能保持のため、1 時間ごとに軽運動を行っている。

WAC わをん

☎ 794-0056 愛媛県今治市南日吉町 2-2-38
☎ 0898-25-3226 ✉ wawon@estate.ocn.ne.jp
🌐 <http://wawon-imabari.jp/>
📘 <https://www.facebook.com/NPO法人-わをん-852093854944865/>
今治警察署の若手警察官に高齢者疑似体験研修を行った。高齢者の交通死亡事故を減らすため、今治市の PR マスコットキャラクター「パリエさん」の反射材シールを 600 人の高齢者に配った。また、県内 3 カ所でバス乗務員 60 名の高齢者疑似体験を行っている。

九州・沖縄

WAC マイラポール

☎ 836-0047 福岡県大牟田市大正町 2-2-1 ヨシダビル 3 階
☎ 0944-57-5900 ✉ goodcare@ivory.plala.or.jp
介護福祉士実務者研修と介護職員初任者研修で、介護の現場で活躍する人材を養成しているほか、小中高校などで薬物乱用防止講演活動を行っている。

ひとよし森のホール

☎ 868-0006 熊本県人吉市駒井田町 190-6
☎ 0966-22-4007 ✉ hitoyoshinomori@kxd.biglobe.ne.jp
🌐 <http://www.hmh-web.com/>
アートを楽しむ人たちが集う文化の発信地として、地元の方やアーティストの作品発表、音楽家のコンサートを企画している。熊本地震後、保育園・学校への出前コンサート、介護施設等のボランティア演奏など数多く活動している。

WAC おきなわ

☎ 907-0013 沖縄県石垣市浜崎町 2-2-8
☎ 0980-88-6075 ✉ akayura@alpha.ocn.ne.jp
🌐 <http://akayura.com/>
WAC おきなわでは人材育成を活動の柱にしている。初任者研修の受講者が激減している現状から、介護職を目指していただくための有効な方法を模索中。

憩いの広場

☎ 453-0834 愛知県名古屋市中村区豊国通 3-17 サンメイトビル 3 階
☎ 052-411-7987 ✉ tmorita@sunmate.co.jp
健康マージャンは毎週火・木曜日に開催し、シニアの憩いの場所を提供している。

脳トレふれあい麻雀

☎ 460-0003 愛知県名古屋市中区錦 2-12-21 錦カナアンビル 6 階 麻雀リビング
☎ 090-2182-2557 ✉ ko-ji...0412@docomo.ne.jp
🌐 <http://www.furukawakoji.com/>
場所を変えながらも 10 年目と続いている。月曜日から土曜日の 10～17 時、曜日ごとにいろいろなメニューで開催している。

WAC 介護ふじ

☎ 454-0921 愛知県名古屋市中川区中郷 3-337
☎ 052-354-1274
☎ 052-351-5002
地域密着型で介護保険制度施行前から「あったか介護」で暮らしのサポートに務めている。介護保険制度では、訪問介護、予防専門型訪問サービス、生活支援型訪問サービス等を実施している。

近畿

WAC 近畿ネットワークセンター

☎ 525-0055 滋賀県草津市野路町 171-8
☎ 077-562-5357 ✉ koushou@iris.eonet.ne.jp
2018 年 6 月に大阪北部地震が発生した際は、関係地域の会員に電話で安否確認と状況聴取を行った。幸い電話のつながった会員の被害報告はなかった。また、ほっとケアまほろばが開催した「痛いのとんでけ講座」を後援した。

ほっとケアまほろば

☎ 525-0055 滋賀県草津市野路町 171-8
☎ 077-562-5357 ✉ koushou@iris.eonet.ne.jp
認知症予防健康マージャンと認知症予防サロンを月 2 回、草津コミュニティ支援センターで開催している。

憩いのサロン上野

☎ 521-0312 滋賀県米原市上野 281-1
☎ 090-5882-1987 ✉ ke762543@icloud.com
民家併設の館をお年寄りの憩いの場として開放している。健康マージャン、脳トレ、カラオケ、囲碁、将棋などを行う。外出の機会や趣味、地域の人との交流を通じて、寝たきりや認知症・うつ予防になる活動をしている。

WAC さくらんぼ京都

☎ 615-8241 京都府京都市西京区御陵谷町 17-12
☎ 075-392-0443 ✉ nql28521@nifty.com
介護保険対象外の外出介助サービスとして、月 4 回、一人暮らしの人の買い物や通院の付き添いを行っている。

ひょうご WAC

☎ 651-2121 兵庫県神戸市西区水谷 1-17-22
☎ 078-277-1067 ✉ w_hyogo0126@yahoo.co.jp
神戸市委託事業として地域拠点型一般介護予防事業（デイサービス）、兵庫県委託事業として兵庫県福祉サービス第三者評価 外部評価事業等を中心に実施している。その他、高齢者疑似体験事業、研修事業等を行っている。

WAC ゆずり葉

☎ 661-0025 兵庫県尼崎市立花町 2-13-31
☎ 06-6429-8543 ✉ wac.yuzuriha@gmail.com
介護予防事業（尼崎市高齢者ふれあいサロン、いきいき百歳体操グループ等）、日常生活助け合い事業（移動支援）、研修事業（認知症疑似体験、高齢者疑似体験、尼崎市人権研修等）、地域交流事業（イベント出展等）を行っている。

『ふれあいねっと』は、個人正会員139人、個人賛助会員705人のほか、以下の法人・団体のご協力により、発行しています。

あいおいニッセイ同和損害保険㈱/旭化成ホームズ㈱営業推進部内 くらしノバージョン研究所/(N)ウェアラブル環境情報ネット推進機構/(一財)高齢者住宅財団/(公財)さわやか福祉財団/(N)さをりひろば/(N)SSSネットワーク/(N)東京山の手まごころサービス/東友会関東支部/トッパン・フォームズ㈱/名古屋大谷高等学校/(一社)日本健康麻将協会/(一社)日本産業カウンセラー協会/(N)日本心身機能活性療法指導士会/(一社)日本青少年育成協会/久光製薬㈱/(N)りすシステム/YKK AP㈱※五十音順。(株)=株式会社、(有)=有限会社、(財)=一般財団法人、(公財)=公益財団法人、(一社)=一般社団法人、(公社)=公益社団法人、(学)=学校法人、(N)=NPO法人



あなたの暮らしをもっと豊かに、生き生きと 公益社団法人長寿社会文化協会 **WAC** へ 入会しませんか！

WACはWonderful Aging Clubの略
楽しく年を重ねていきましょう！

個人賛助会員の年会費は3,000円
会員誌『ふれあいねっと』が届きます
(個人正会員の年会費は、10,000円)

●WAC会員の特典●

会員が安心してWACの活動に取り組めるよう、会員補償制度を設けています。

●ご入会およびお問合せ●

☎ 105-0011 東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館 1階 公益社団法人長寿社会文化協会
☎ 03-5405-1501 代

●年会費のお振込先●

ゆうちょ銀行振替口座 00150-1-33737 公益社団法人長寿社会文化協会

表紙の写真は：

右上新 ● 10月の日帰りバス旅行の途中で大沼国定公園に寄ったわつく室蘭の皆さん (P12)
上 ● 2019年度 WAC 定時総会 (P3～5)
右側の中から ● 今治警察署の若手警察官に WAC をんが高齢者疑似体験研修を実施 (P14) ● 都内で年間 60 回開催している「シニア生涯ワーキングセミナー」の参加者募集チラシ (P11)
左側の中から ● 盛況だった千葉県福祉機器展 (P9) ● 東京都八王子市委託「介護人材養成研修事業」の生活支援ヘルパー研修における就職相談会

会員の皆様へ

平素から WAC をお引き立てくださり誠にありがとうございます。
また、今号のふれあいねっと発行が遅れてしまい申し訳ございませんでした。
さて、このたび、監督官庁へ小口の寄付金でも減税効果が得られる「税額控除」を申請しました。

【公益法人をめぐる寄付税制の概略ご紹介】

公益法人には「民による公益の増進」のため、各種の税制上の優遇措置が設けられています。
大別すると「公益法人への寄付についての税制」と「公益法人の事業についての税制」です。公益法人の活動を支えていくには、寄付による支援が必要です。このため、個人または法人から公益法人に対する寄付について税法上の優遇措置が設けられています。

個人に対する税制優遇は、主に「所得税」「個人住民税」、個人が相続財産を公益法人に贈与した場合非課税となる「相続税」です。そして、「所得税」については、「所得控除」「税額控除」の2つの選択肢があります。これまで WAC への寄付は「所得控除」のみでした。

税額控除対象法人になりましたら、皆様方へあらためてご案内いたします。ぜひ、積極的にご利用のほど、よろしく願い申し上げます。

【ご参考】

所得控除： [所得金額 - (寄付額 - 2,000 円)] × 所得税率 = 税額

税額控除： 所得金額 × 所得税率 - [(寄付額 - 2,000 円) × 40%] = 税額



2019年12月15日発行 通巻278号

発行人：升田 忠昭

編集人：小林 里美

編集：昆布山 良則、小山 環

発行：公益社団法人・長寿社会文化協会

〒105-0011

東京都港区芝公園 2-6-8

日本女子会館 1階

TEL：03-5405-1501 (代)

FAX：03-5405-1502

制作：岡村直実 (JCユニット)

定価 1冊 400円

「ふれあいねっと」バックナンバーのご案内

1冊400円、かわら版は1部100円（いずれも税込）+送料（メール便）でお分けします。代金後払い（郵便為替・銀行振込、手数料お客様負担）です。
在庫がなくなり次第販売終了となりますので、あらかじめご了承ください。

2019年3月号 (No.277)



- かわら版創刊にあたって
- 全員一丸となって、前進しよう
- WAC ひろしま健康麻雀サロン
- 会員のページ
トッパンフォームズ、シナジー、ひとよし森のホール
- 主要事業の報告
コミュニティカフェ 1day 実践講座
千葉ふれプラ、指定管理更新に成功
生涯現役社会推進事業で、若手男性職員が活躍
- WAC 浦和 ケア・ハンズ
- 教えて！高齢社会Q&A
- 健康・知って得するお話

2018年9月号 (No.276)



- Message (京極高宣 会長)
「再び会長に就任して一フレイル予防に注力」
- WAC 定期総会
京極高宣さんが会長に復帰
3700万円の増収
会費減収でマイナス決算に
- 全国のWACポイント一覧
- 主要事業の報告
みなと＊しごと55は就職者大幅増
高齢者の就労支援セミナーを60回開催
初めて1日のコミカフェ講座を実施
UR、高知県社協でうらしま研修
- 「編集長の眼」No.11

2018年5月号 (No.275)



- Message 「WAC 創立30年——思い起こす両会長の言葉」
- コミュニティカフェの開設講座と全国交流会
- 主要事業の報告 (2017年度の振り返り)
介護人材マッチング・定着支援事業は55人が受講
第三者評価は過去最多の54件
千葉ふれプラは3年連続で20万人超が利用
訪問サービスの担い手217人養成
台東区立小の大半でつくし君研修
男の手料理教室には72人参加
- ポイントからの活動報告
カルチャースクールで仲間づくりを進めるWACぐんま

2018年1月号 (No.274)



- Message 「創立30年を機に原点返りの改革を断行」(升田忠昭 理事長)
- WAC 定時総会
升田忠昭さんが新理事長に
定款の一部改定、役員「任期1年」
議案は見送り
新役員一覧
- 主要事業の報告
川崎市介護人材マッチング・定着支援事業
千葉ふれプラの利用者数は累計200万人に
- ポイントからの活動報告
西日本各地で認知症高齢者疑似体験の研修会を行う「WAC ゆずり葉」

2017年3月号 (No.273)



- 巻頭言 (須藤康夫 理事長)
- WAC ポイント探訪
笑顔弾ける 男の手料理教室
- ポイントからの活動報告
3年連続でコミカフェ講座を開催
音楽で人の心を癒す
- 主要事業の報告
- オーストラリア視察報告
- ボランティアとオリンピック②
- 外国人技能実習制度に介護職が追加になることについて (須藤康夫 理事長)

2016年10月号 (No.272)



- WAC ポイント探訪
健康マージャンでいきいき! (WAC 豊齢健康の街づくり)
- 全国 WAC ポイント一覧
- 熊本の今を知る——支援活動報告 (小林里美 常務理事)
- ボランティアとオリンピック①
- WAC 定時総会報告
高齢者疑似体験や第三者評価が健闘
前年度を上回る367万円の黒字に
- 主要事業の報告
- 惜別 下河辺淳初代会長が逝去

ご注文

お送り先の郵便番号、住所、電話番号、氏名、希望の号、冊数を下記までお知らせください。

WAC WONDERFUL AGING CLUB 公益社団法人長寿社会文化協会
 ● E-mail : iken@wac.or.jp ● FAX : 03-5405-1502 ● TEL : 03-5405-1501